

滝高フロンティアサイエンス通信

2013,12.13 SSH 理数科

第 18 号①

SSH 課題研究発表会・校外研修ポスター発表会が開催されました



12月3日(火)3校時～5校時の日程で、4月から取り組んできた、課題研究発表会(2年F組)、フロンティアサイエンスⅠ校外研修発表会(1年F組)が行われました。当日は、東京からJST(独立行政法人科学技術振興機構)の副調査役等2名をはじめ、道内大学教授等の助言者、道内のSSH実施校・空知管内の教員、保護者等の参加があり、総勢130名の大規模な発表会となりました。

第1部は、理数科2年生による課題研究発表会です。発表内容は、

①テーマ設定の理由、②仮説、③実験結果、④考察、⑤今後の研究課題です。

各班の発表テーマは、①「空気砲に秘められた力」②「一番飛ぶ模型飛行機をつくろう」③「色素の分離」④「炎色反応における色の性質」⑤「宮島沼の底泥に肥料として利用価値はあるのか」⑥「滝川市に生息するカグヤコウモリの生態」⑦「竜巻の発生条件を考える～強風から身を守れるのか」でいずれも身近で興味深い内容でした。各班ともスライドやビデオ、中には実験の様子を実際に再現するものもあり、参加者にわかりやすく説明しようという工夫が随所に見られました。

第2部は、昼食を挟んで、理数科1年生が10月に、1泊2日で宮島沼及びウトナイ湖でマガンの生息調査を実施した内容を、各グループ別にポスターにまとめ発表しました。

各班とも、短い期間で調べたことをグラフや図、写真などを使ってポスターにして、それをもとにポスターセッション方式で先輩や、先生たちを相手に説明をしました。1年生にとっては初めての経験で戸惑うことも多かったようですが、先輩たちのサポートも受けながら楽しんで発表している様子を見ることができました。

最後に、東京から来られたJSTの主任調査員である田辺新一先生より「SSH1年目の学校としてすばらしいスタートが切れていると見受けられました。皆さんは全国201校のSSH高校の1つとして大変恵まれた環境の中にいます。またこの地域には研究の材料が身近にあり、これもまたすばらしい環境の下で学習できます。今日気づいたこと、さらに疑問に思ったことなどを自分たちの次の課題としたり、後輩に引き継ぐなどして、さらに中身の深い研究にしていきたいと思います。」との講評をいただきました。みんなすばらしい経験を積むことのできた発表会となりました。

開会式；校長挨拶



開会式：JST小川副調査役挨拶



滝高フロンティアサイエンス通信

2013,12.13 SSH 理数科

第 18 号②

2 年生発表①



2 年生発表②



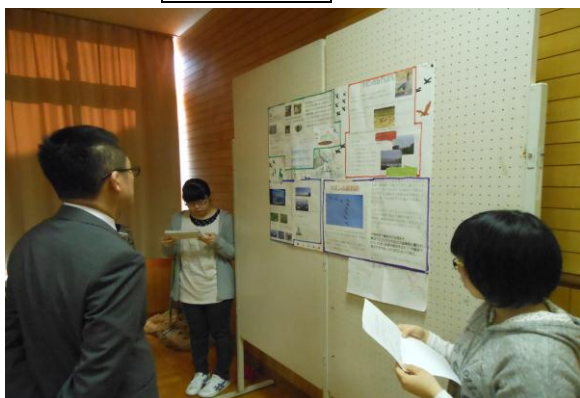
2 年生発表③



2 年生発表④



1 年生発表①



1 年生発表②



宮島沼センター：牛山さんの講評

閉会式：JST 田辺主任調査員講評

